

2022年度（第18回）精密工学会賞受賞業績の紹介

諸 貫 信 行

諸貫信行氏は長年にわたり、超精密加工を礎として、機能表面という新しい分野におけるパイオニアの一人として、表面加工による異方性を有する摩擦特性、微粒子の選択的自己整列など、表面構造による各種機能の発現に関して独創性の高い研究に取り組んでこられました。また、多くの国内企業との共同研究や学術相談を実施し産業界へ大きく貢献なされ、本務先の首都大学東京（現：東京都立大学）ではシステムデザイン学部長などを歴任されました。近年は、民間企業と共同で、表面機能を活用した塗装技術開発に注力されています。

精密工学会においては、専門委員会委員長、理事、監事、副会長（2014～2015年度）を歴任され、学会運営に多大なる貢献をされています。また、ほかの学術協会団体においても（一社）日本機械学会生産加工・工作機械部門長をはじめ、（一財）マイクロマシンセンター、（一社）日本工作機械工業会などで各種委員長を務めるなど、多岐にわたって活躍されております。

以上のとおり、諸貫信行氏は、精密工学に関する多面的かつ多大な貢献をされてこられました。ここにその功績を称え、精密工学会賞を贈賞いたします。



略 歴

- 1979年 東京都立大学工学部機械工学科卒業
- 1981年 東京都立大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了
- 1981年 日本楽器製造株式会社
- 1983年 東京都立大学工学部機械工学科助手
- 1989年 工学博士（東京都立大学）
- 1990年 東京都立大学助教授
- 2001年（3月～10月） ドイツ・ブレーメン大学客員研究員
- 2005年 首都大学東京（東京都立大学）教授
- 2011年 日本機械学会フェロー
- 2012年 精密工学会フェロー
- 2018年～2020年 首都大学東京システムデザイン学部学部長
- 2022年 東京都立大学名誉教授